キリマンジャロコーヒーの村 ルカニへ

生産者と消費者を結ぶ

コーヒーのスタディツアー

産地訪問の旅

週末に家族総出で摘みとる

キリマンジャロ山と家庭畑（バナナを日陰樹としたコーヒー生産）

万年雪を抱くアフリカ大陸最高峰・キリマンジャロ山。その西斜面にあるタンザニア・ルカニ村は、日本で高い人気をほこるキリマンジャロ・コーヒーの産地です。1980年代半ばよりNGOなどがスタディツアーを実施し、これまでに100人以上の日本人がルカニ村を訪れています。ルカニ村は地理的には離れていますが、コーヒーとツアーを媒介として日本との関係が深い村です。

村民にとってコーヒーは最大の現金収入源で、特に子どもたちの教育・医療の経費となっていますが、1990年代以降のコーヒー価格の低迷にともない、村民の生活は大きな影響を受けました。この状況から抜け出せるように、ルカニ村と長期間交流をしてきた人たちが、2001年に『ルカニ村・フェアトレード・プロジェクト』を始めました。このツアーではルカニ村などを訪れ村民と交流をし、プロジェクト現場を見学します。

当ツアーはより実りある経験をしていただくために、現地を訪れる前に事前学習会を開催します。ツアーご参加の方や検討中の方もご出席をお願いいたします。また、事前の準備に始まりツアー中にかけてお世話になる村民の方々へ、ツアー終了後に感想やお礼の気持ちを込めて、レポートのご提出をお願いいたします。

ルカニ村では村民のアレックスさんがご案内します。

協力：ルカニ村・フェアトレード・プロジェクト　http://tsunji.world.coocan.jp
（詳しくは裏面をご覧ください）

申込期限：7月24日（水）

ビザ申請など出発の前の準備に日数を要します。できる限り期限までにお申込み下さい。期限を過ぎてのお申込みはお問い合わせ下さい。

事前学習会：後日発表（8月初旬を予定）

『ルカニ村・フェアトレード・プロジェクト』の辻村英之さん（京大教授）による学習会を予定しています。

※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、ご確認の上、お申し込みください。

2019年 9月6日（金）～14日（土） 9日間

旅行代金：**160,000円**

【その他の費用】
日本からの往復航空券代金
一人部屋追加金：12,500円
タンザニア査証申請料等

※ダルエスサラームの空港集合・解散

※航空券の手配はお問い合わせ下さい。ご希望の空港からのアレンジをいたします。

■旅行日程

日	時刻	活動・宿泊	食事
9月6日（金）	午後	ダルエスサラーム着後ホテルへご案内 オリエンテーション・夕食会　ダルエスサラーム【ホテル泊】	夕
9月7日（土）	朝 夜	専用車にてダルエスサラーム出発 ルカニ村着　ルカニ村【ホームステイ】	朝 昼 夕
9月8日（日）	午前 午後	村のキリスト教の教会の日曜礼拝に参列 コーヒー畑見学　ルカニ村【ホームステイ】	朝 昼 夕
9月9日（月）	午前 午後	ラワテ市場見学 フェアトレードで支援する村の中学校、図書館・診療所見学　ルカニ村【ホームステイ】	朝 昼 夕
9月10日（火）	終日	コーヒー畑・農協・保育園などでのコーヒーとフェアトレードのお話（辻村さん、村民たち） ルカニ村【ホームステイ】	朝 昼 夕
9月11日（水）	午前 午後	農業体験 モシへ移動（専用車）　モシ【ホテル泊】	朝 昼 夕
9月12日（木）	午前 午後	コーヒー競売所見学 コーヒー加工工場見学　モシ【ホテル泊】	朝 夕
9月13日（金）	朝 夕刻	専用車でモシを出発 ダルエスサラーム到着 ダルエスサラーム【ホテル泊】	朝 昼
9月14日（土）	午前 午後 夕刻	ダルエスサラーム自由行動 空港へ ダルエスサラーム出発　帰国の途へ	朝

＜利用ホテル＞　ダルエスサラーム：Sleep Inn または同等クラス
モシ：Leopard Hotel または同等クラス
＜食事＞　日程表に記載した食事代は旅行代金に含まれています。
＜添乗員＞　同行しません。現地では全行程英語ガイドが同行します。
＜最少催行人員＞　6名
＜定員＞　8名

■お申込み・お問い合わせ先
株式会社マイチケット
エアーワールド㈱代理店／日本旅行業協会（JATA）協力会員
兵庫県知事登録旅行代理店業第142号（総合旅行業務取扱管理者：山田和生）
〒660-0084 尼崎市武庫川町4-27-1 FAX 06-4869-5777
☎ 06-4869-3444
www.myticket.jp
E-Mail: info@myticket.jp

旅行企画・実施
エアーワールド㈱
大阪市中央区内本町2-2-14-207号
観光庁長官登録旅行業第961号
日本旅行業協会（JATA）会員

タンザニア現地手配：JATA TOURS ジャタツアーズ（https://jatatours.wixsite.com/jatatours）

ルカニ村・フェアトレード・プロジェクト

キリマンジャロコーヒーを飲んで ルカニ村の教育と森林を守ろう！

Drink Kilimanjaro Coffee to Secure Education and Forest at Lukani Village!

タンザニア・キリマンジャロ山の西斜面にあるルカニ村。日本で高い人気をほこるキリマンジャロコーヒーの名産地です。村民は子供の教育費をかせぐためにコーヒーを育てます。そして直射日光を嫌うコーヒーの木は、森林の林木や村民の主食・バナナの木かげで育てられます。コーヒーのおかげで、子供と森林が育まれてきたと言えます。

しかし90年代以降、コーヒー価格の低迷が目立つようになりました。特に2001～02年の史上最安値「コーヒー危機」を契機に、街へ移住する若者が増えました。村に残った農民も、逆に直射日光を求めるトウモロコシに転作し、あるいは林木を過剰に販売し、コーヒーに代わる現金収入源としました。コーヒーや教育の危機にとどまらず、森林破壊まで進んでしまったのです。

私たちは、これらの危機から脱するルカニ村民の努力を支えるため、2001年に「ルカニ村・フェアトレード・プロジェクト（Fair Trade Project for Lukani Villagers: FTPLukani）」をはじめました。

FTPLukaniは現在、171cents/poundの最低（輸出）価格を保障しております。「コーヒー危機」で半減してしまったコーヒーの木の数を元に戻せば、２人の子供が中学に通える価格水準です。さらに23cents/poundのフェアトレード・プレミアム（産地の社会開発のための還元金）を支払い、図書館・中学校の建設、保育園の教材購入、コーヒー加工場・苗木場の整備、新品種の苗木普及などを促しております。

日本において、このフェアトレード・キリマンジャロコーヒーの販売を担ってくれるのは、京都・福岡を拠点とするコーヒー焙煎業者・キョーワズ珈琲、そして京都、大阪、北九州、名古屋、神戸などの複数の自家焙煎店です。少し高めのコーヒーですが、好評を得ている甘酸っぱい香味に対して、さらに新たな品質（ルカニ村民の生活（特に教育と森林）を守ることができる特性）が上乗せされているとご理解いただき、消費者の皆さまに買い支えていただければ幸いです。

また私たちは、JATAツアーズ、関西・南部アフリカネットワーク、マイチケットなどが築き上げたルカニ村民との民衆交流を、さらに深化させようと試みております。2009年からはじまったコーヒー・スタディツアーにより、ルカニ村にしばらく滞在して村民とふれ合えば、おのずと支え合いたい（毎日の食卓に欠かせないコーヒーを供給してくれる生産者を買い支えたい）という気持ちが、芽生えると考えております。

辻村 英之（京都大学農学研究科）

中学校の授業風景

図書館風景

ルカニ村・フェアトレード・プロジェクト
〒606-8502　京都市左京区北白川追分町　京都大学農学研究科　辻村研究室内
E-mail：tsunji@hotmail.co.jp　URL：http://tsunji.world.coocan.jp